ともに挑む。ともに実る。
MIZUHO みずほ銀行

今週の為替相場見通し（2025年4月7日）

総括表		先週の値動き			今週の予想レンジ
		注	レンジ	終値	
米ドル	（円）		144.55 ～ 150.49	146.88	140.50 ～ 149.50
ユーロ	（ドル）		1.0784 ～ 1.1147	1.0965	1.0800 ～ 1.1200
（1ユーロ=）	（円）		159.10 ～ 164.09	160.67	156.00 ～ 163.00
英ポンド	（ドル）		1.2853 ～ 1.3207	1.2906	1.2600 ～ 1.3400
（1英ポンド=）	（円）	*	187.54 ～ 195.77	189.37	185.00 ～ 195.00
豪ドル	（ドル）		0.5987 ～ 0.6389	0.6045	0.5750 ～ 0.6150
（1豪ドル=）	（円）	*	87.41 ～ 95.31	88.78	88.50 ～ 92.50

（データ）先週の値動きに関して、注の欄で無印の項目はみずほ銀行、*印の項目はブルームバーグ。

1．米ドル

国際為替部　グローバルFIチーム　田川 順也

（1）今週の予想レンジ：　140.50 ～ 149.50 円

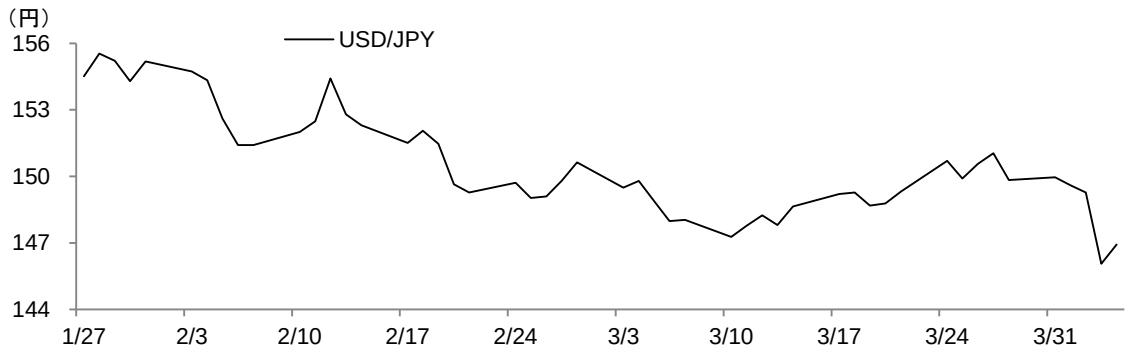
（2）ポイント【先週の回顧と今週の見通し】

先週のドル/円は急落した。149.63円で週初取引を開始、米スタグフレーション懸念が指摘される中でセンチメント悪化。アジア株安を見ながらドル/円も148円台へ下落。一巡後は150円台を回復するなど神経質な展開。4月1日は150円ちょうど近辺での値動きとなっていたが、日本株が下げに転じるとドル/円も上値の重い展開。海外時間に入ると米金利低下に加え、米経済指標が軟調となると一時149円を割り込んで下落。ただ、2日、日本時間は再度149円後半を回復し、横ばい推移。欧州時間では米金利低下や株式市場軟調に一旦下押しするも、北米時間にかけては回復。米関税が発表されると直後は150.49円の週間高値を示現。その後は乱高下しながも結局下落。3日もこの流れを汲み、また日本時間早朝には米相互関税のヘッドラインが出ると一段と下げが加速。北米時間では146円台も割り込んで145円台前半へ。4日は米3月雇用統計前に様子見の展開だったが、中国の報復関税のヘッドラインが出るとリスクオフに傾倒。ドル/円は144.55円の週間安値へと下落。迎えた米3月雇用統計では事前予想を上回る結果となり、パウエルFRB議長が米関税を背景としたインフレリスクを指摘するような発言も相俟ってドル/円は147円台半ばまで反転上昇した後、146.88円で越週となった。

今週のドル/円は下値を探る展開を想定。「貿易戦争」リスクに世界的に株価が下落。先週末は中国が米国からのすべての輸入品に34%の報復関税を10日（木）から課すと発表すると輪をかけてリスクオフへと傾斜。一週間程度の短期目線ではリスクオフトレンドが継続、ドル/円も下値を探る展開となるだろう。一方で、ベトナムは最高指導者がトランプ米大統領と電話で会談。ベトナムに対する46%の関税について交渉、米国からの輸入品に対する関税をゼロへと引き上げの用意などとの報道も見られ、下だけでなく上にも振れるようなボラタイルな展開も想定しておきたい。ファンダメンタルズ的な観点では、市場センチメントの悪化に比して米国のハードデータは“まちまち”の内容となっており必ずしも悪いとは言い切れない状況。また直近パウエルFRB議長からはハト派な発言が聞かれていない。逆説的にはここが反転してしまうとドル売り主導でドル/円が一段と下落するリスクシナリオも想定し得る。同じくリスクシナリオとして、投機筋の円ロングポジションは先月より歴史的水準まで積み上げっており、利益確定に伴った円売りも頭の片隅に。いずれにしてもメインシナリオは米関税関連のヘッドラインに従属的な相場展開で、結局ドル/円は下落する展開を想定。142円程度は見ておきたい。

（3）先週までの相場の推移

先週（3/31～4/4）の値動き：　安値 144.55 円　高値 150.49 円　終値 146.88 円



（資料）ブルームバーグ

2. ユーロ

国際為替部　為替デリバティブチーム　部坂 洋太朗

(1)今週の予想レンジ:　1.0800 ～ 1.1200　　156.00 ～ 163.00 円

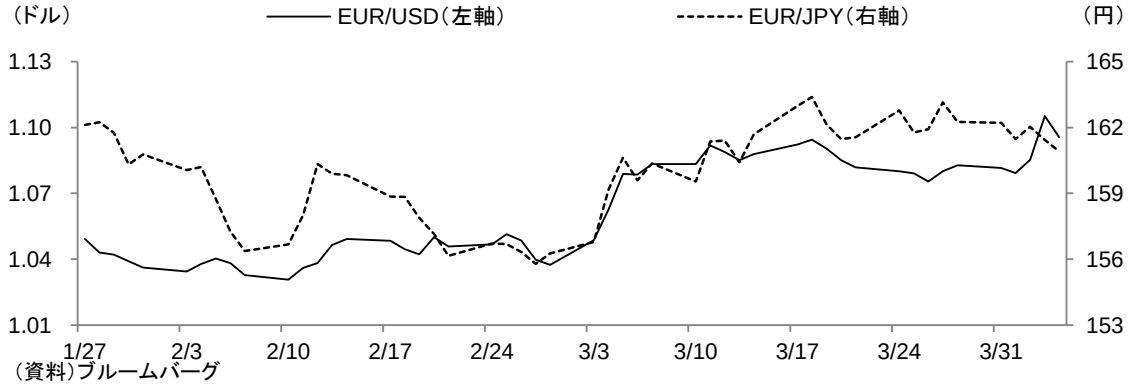
(2)ポイント【先週の回顧と今週の見通し】

先週のユーロ/ドルは上昇となった。週初31日、ユーロ/ドルは1.0825でオープンした後、米国時間に堅調な米経済指標を背景としたドル買いにより1.0784まで下落となったが、その後は値を戻し1.0817でクローズ。4月1日、米国時間に発表された米3月ISM製造業景気指数が事前予想を下回ったが、翌日の関税発表を控えて値動きは限定的。2日、オープンから1.0790台で関税案発表を控えて方向感のない値動きとなったが、米国時間午前に「欧州連合が米政権の関税案に対して緊急支援策を用意する」との報道を受けて1.0874まで上昇。その後、トランプ米大統領が関税案を発表し、「すべての国に一律10%の関税」との発言から一時1.0924まで上昇するも、主要国が軒並み高関税であることが判明すると1.0811まで下落となり、1.0848でクローズとなった。3日、東京時間からトランプ米大統領関税案による米景気後退懸念からマーケット全体がリスクオフの流れとなるなか、終始ドルが売られる流れとなりユーロ/ドルは一時週高値の1.1147まで上昇。その後はドル売りも一巡となり1.1053でクローズ。4日、中国の報復関税の報道を受けたリスクオフの流れから1.0965まで下落。その後、一旦1.10台を回復も米3月雇用統計が事前予想を上回ったことでドル買いの流れとなり再度下落。また、パウエルFRB議長講演にてインフレが長期化する懸念を述べたことで利下げ期待剥落となり1.0925まで続落となり、1.0965で越週となった。

今週のユーロ/ドルは引き続き関税措置に対する各国の対応および米国との交渉状況に関するヘッドラインに振らされる展開となるなか、下落を予想する。ユーロ/ドルは独財政支出拡大およびECB政策理事会4月会合での利下げ停止といった要因でここまで上昇しており、トランプ米大統領の関税措置を受けたドル売りを背景に一時約半年ぶりの高値水準まで上昇となった。ただし、マーケット全体でリスクオフ相場が継続するなかで4月17日(木)のECB政策理事会にて利下げ織り込みが進んでいる一方で、ドルは更なるインフレ加速懸念が強まっており、米欧金利差拡大を背景に上値が重い展開になると予想する。今週の経済指標およびイベントの予定は7日(月)に独2月鉱工業生産およびユーロ圏2月小売売上高、11日(金)に独3月CPI(確報)、ユーロ圏財務省会合の開催が予定されている。

(3)先週までの相場の推移

先週(3/31～4/4)の値動き:　(対ドル) 安値 1.0784　高値 1.1147　終値 1.0965
(対円) 安値 159.10　高値 164.09　終値 160.67



(資料)ブルームバーグ

3. 英ポンド

欧州資金部　神田 史彦

(1)今週の予想レンジ:　1.2600 ～ 1.3400　185.00 ～ 195.00 円

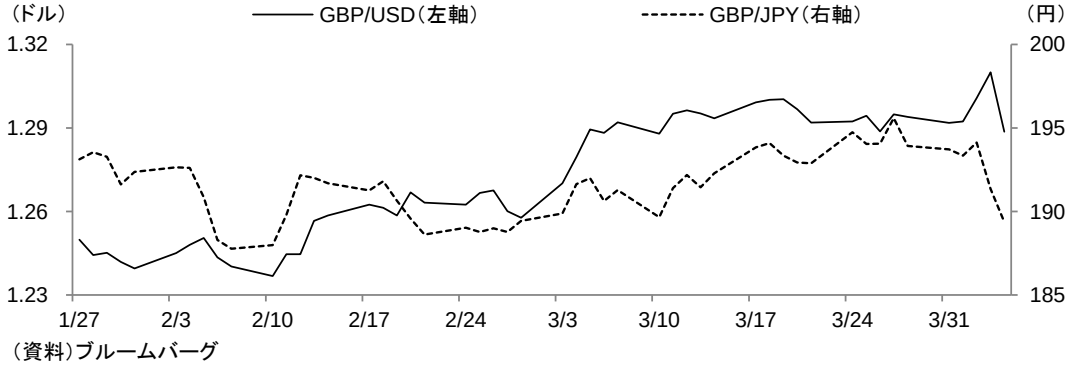
(2)ポイント【先週の回顧と今週の見通し】

先週の英ポンド相場は、上下に振れた。週初31日に1.29台半ばで取引開始。米関税にかかる不透明感からリスクオフが先行で英ポンドは上値重く推移し、翌4月1日にかけて1.2900を割り込む場面も。トランプ米政権が「解放日」と位置付けた2日は、一部の国々に対して予想以上の関税を課すことを発表すると、米景気への懸念が台頭しドルは対ユーロを中心に売られ、英ポンドも連れ高。3日には、マクロン仏大統領が対米投資を控えるよう企業へ呼びかけドル売りをサポートし、一時1.32台まで英ポンドは買われた。週末4日は、米3月雇用統計を待つ中ドル売りが巻き戻され、一時1.3000を割り込む。しかし中国が対米報復関税を発表すると再びドル売りに。米3月非農業部門雇用者数はヘッドラインが予想を上回る中、若干のドル買い戻しで反応。結局1.29台へ下落した。英ポンドは対円で下落。31日に193円近辺で始まり4月2日は関税発表前に195円台まで買われるも、発表後は円買いに押され、3日には192円台を割り込む。週末4日は円買いに押され188円を割り込んだ。

今週の英ポンド相場は、引き続きボラタイルな展開を見込む。まず指標面では11日(金)の英2月の月次GDP。前回1月分は予想外のマイナス成長となったことでスターマー英政権への更なる逆風となったことは記憶に新しく引き続き注目される(皮肉なことに、かかるリスクオフムードで国債が買われており、英国債も例外ではないため、かねてから懸念されている英国債金利については下落基調となっており、政権へのプレッシャーが少し軽くなっていると言える)。今月は英中銀の政策発表は予定されておらず、次回5月会合に向けた利下げ織り込みは9割以上と高く、アップサイドのリスクの方が大きいか。ただ、先週見られたように、関税絡みのヘッドラインのリスクセンチメントへの影響が大きい中、市場の関心がそちらに注がれることは必至。現状は貿易戦争激化方向にはドル売り/英ポンド買いで反応している市場だが、リスクオフが続くとその状況が巻き戻されるリスクもある。

(3)先週までの相場の推移

先週(3/31～4/4)の値動き:　(対ドル) 安値 1.2853　高値 1.3207　終値 1.2906
(対円) 安値 187.54　高値 195.77　終値 189.37



(資料)ブルームバーグ

4. 豪ドル

国際為替部　為替営業第二チーム　鈴木 智大

(1)今週の予想レンジ:　0.5750 ～ 0.6150　　88.50 ～ 92.50 円

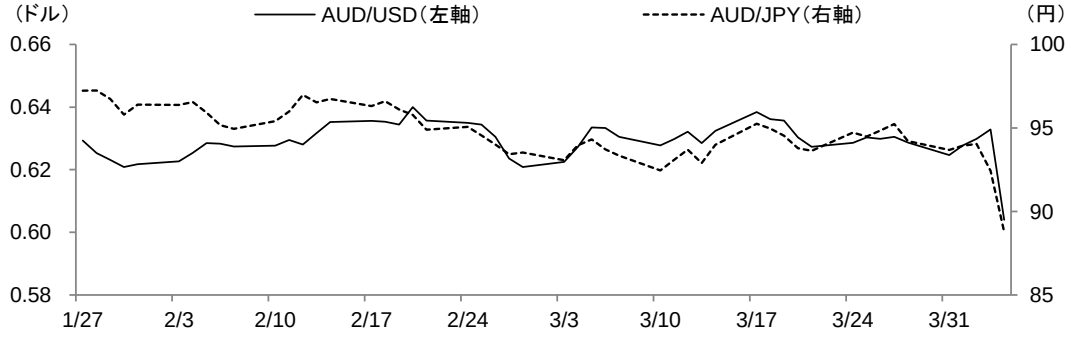
(2)ポイント【先週の回顧と今週の見通し】

週初3月31日の豪ドルは0.6281でオープン。特段目新しい材料はない中で、期末のドル買いフローに押される流れに、0.62台前半までじりじりと値を下げる展開となった。4月1日はRBA理事会で政策金利の据え置きが決定。織り込み済みの面が強かったこともあり、明確な方向感は出ず。0.62台半ばを中心とした推移に留まった。2日はトランプ米政権の関税に対する警戒感から米金利が低下する中、0.63ちょうど近辺まで上昇。注目された米相互関税の詳細は、「全世界一律10%」というヘッドラインに、当初はリスクオン寄りの動きが優勢。0.63台半ばまで上昇するも、その後に国別の詳細が公表されると、世界的な景気後退懸念の強まりから0.62台半ばまで反落するなど、ボラタイルな値動きとなった。3日は全世界的な株安などリスクオフ寄りの動きから、序盤は0.62台前半まで下押しされるも、米国の経済停滞懸念を背景としたドル売りが勝り、一服後は堅調な推移。一時週間高値となる0.6389まで上値を伸ばした後に押し返されたものの、0.63台を維持してクローズ。4日は中国の報復関税のヘッドラインに米3月非農業部門雇用者変化の予想比上振れを受けたドル買いも重なり、大きく値を下げる展開。一時週間安値となる0.5987を付けた後はやや値を戻すも上値は重く、0.6045で越週した。

今週の豪ドル相場は軟調な推移になることを予想する。注目された4月1日(火)のRBA理事会では、市場予想通り政策金利の据え置きが決定。ブロックRBA総裁が会合後の会見で「今会合ではっきりとした利下げの議論はしていない」、「5月の利下げはまだわからない」と発言し、現状での金融緩和に慎重な姿勢を示したものの、「インフレ率の低下は順調」といったハト派な発言も見られるなど、強弱まちまちな内容に、金融政策が特段豪ドル相場に影響を及ぼすような雰囲気は感じられなかった。一方、既に株式市場をはじめ多くのマーケットに混乱を引き起こしているトランプ米政権による関税政策の影響は、個別交渉による反転の可能性が一部残されているとはいえ、程度も含めて不透明な面が多く、リスクオフ的な雰囲気は当面継続することが想定される。グローバルな景気後退懸念に加え、豪州自身は報復措置を否定したものの、経済的結びつきの強い中国が、米国からの輸入品全てに34%の追加関税を課すと発表したことや、OPECから予想外に自主減産の一段の縮小合意が発表され、米関税政策の影響を受けて軟調な値動きとなっていた原油価格の下落スピードが加速したことも、豪ドルにとっては悪材料として作用し、下押し圧力が続く展開となりそうだ。

(3)先週までの相場の推移

先週(3/31～4/4)の値動き:　(対ドル) 安値 0.5987　高値 0.6389　終値 0.6045
(対円) 安値 87.41　高値 95.31　終値 88.78



(資料)ブルームバーグ

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

#NAME?

PX_LAST	JPY BGN (	EUR BGN	EURJPY B	GBP BGN	GBPJPY B	AUD BGN	AUDJPY B
Date	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	GBP/JPY	AUD/USD	AUD/JPY
#NAME?	156	#NAME?	#NAME?	#NAME?	#NAME?	#NAME?	#NAME?
2025/01/27	154.51	1.0492	162.12	1.2499	193.126	0.6293	97.225
2025/01/28	155.54	1.043	162.24	1.2443	193.54	0.6253	97.244
2025/01/29	155.22	1.0421	161.76	1.2452	193.279	0.6231	96.745
2025/01/30	154.29	1.0391	160.32	1.2419	191.612	0.6209	95.802
2025/01/31	155.19	1.0362	160.78	1.2395	192.375	0.6218	96.401
2025/02/03	154.73	1.0344	160.06	1.245	192.642	0.6227	96.372
2025/02/04	154.34	1.0379	160.2	1.248	192.617	0.6254	96.551
2025/02/05	152.61	1.0403	158.75	1.2505	190.844	0.6285	95.917
2025/02/06	151.41	1.0383	157.27	1.2435	188.299	0.6283	95.173
2025/02/07	151.41	1.0328	156.38	1.2402	187.769	0.6274	94.954
2025/02/10	152	1.0307	156.67	1.2368	187.979	0.6277	95.414
2025/02/11	152.49	1.0361	158.01	1.2446	189.792	0.6295	95.986
2025/02/12	154.42	1.0383	160.33	1.2446	192.16	0.628	96.971
2025/02/13	152.8	1.0465	159.9	1.2566	192.014	0.6317	96.533
2025/02/14	152.31	1.0492	159.83	1.2586	191.689	0.6352	96.74
2025/02/17	151.51	1.0484	158.85	1.2625	191.267	0.6356	96.31
2025/02/18	152.06	1.0446	158.84	1.2613	191.806	0.6353	96.601
2025/02/19	151.47	1.0423	157.88	1.2586	190.646	0.6344	96.103
2025/02/20	149.64	1.0501	157.16	1.2669	189.566	0.64	95.778
2025/02/21	149.27	1.0458	156.15	1.2632	188.62	0.6357	94.898
2025/02/24	149.72	1.0468	156.72	1.2625	189.025	0.635	95.061
2025/02/25	149.03	1.0514	156.69	1.2666	188.772	0.6344	94.553
2025/02/26	149.1	1.0485	156.33	1.2676	188.993	0.6305	94.006
2025/02/27	149.81	1.0398	155.79	1.2601	188.773	0.6236	93.423
2025/02/28	150.63	1.0375	156.27	1.2577	189.429	0.6209	93.523
2025/03/03	149.5	1.0487	156.79	1.2701	189.885	0.6225	93.066
2025/03/04	149.79	1.0626	159.17	1.2795	191.641	0.6272	93.964
2025/03/05	148.88	1.0789	160.63	1.2895	191.988	0.6335	94.315
2025/03/06	147.98	1.0785	159.6	1.2882	190.635	0.6333	93.72
2025/03/07	148.04	1.0833	160.36	1.292	191.276	0.6305	93.349
2025/03/10	147.27	1.0834	159.54	1.2879	189.656	0.6278	92.461
2025/03/11	147.78	1.0919	161.36	1.2951	191.395	0.6298	93.081
2025/03/12	148.25	1.0888	161.4	1.2963	192.185	0.6321	93.701
2025/03/13	147.81	1.0852	160.42	1.2952	191.443	0.6285	92.891
2025/03/14	148.64	1.0879	161.69	1.2935	192.277	0.6324	93.996
2025/03/17	149.21	1.0922	162.98	1.2992	193.84	0.6384	95.257
2025/03/18	149.27	1.0945	163.39	1.3001	194.086	0.6361	94.963
2025/03/19	148.69	1.0903	162.13	1.3003	193.348	0.6357	94.531
2025/03/20	148.78	1.0851	161.47	1.2967	192.928	0.6303	93.779
2025/03/21	149.32	1.0818	161.55	1.2919	192.88	0.6273	93.635
2025/03/24	150.7	1.0801	162.78	1.2923	194.749	0.6286	94.726
2025/03/25	149.91	1.0791	161.78	1.2944	194.049	0.6303	94.494
2025/03/26	150.57	1.0754	161.92	1.2888	194.057	0.6299	94.838
2025/03/27	151.05	1.0801	163.15	1.2949	195.59	0.6305	95.228
2025/03/28	149.84	1.0828	162.25	1.294	193.917	0.6287	94.211
2025/03/31	149.96	1.0816	162.21	1.2918	193.726	0.6247	93.681
2025/04/01	149.61	1.0793	161.47	1.2923	193.34	0.6278	93.934
2025/04/02	149.28	1.0853	162.04	1.3007	194.12	0.6299	94.046
2025/04/03	146.06	1.1052	161.43	1.31	191.355	0.6329	92.438
2025/04/04	146.93	1.0956	160.91	1.2887	189.366	0.604	88.781
2025/04/07	145.29	1.0988	159.64	1.2888	187.253	0.5999	87.153

GN Curncy
（右軸）